



実践形式の練習に汗を流す児童ら

ラグビー もっと上手に

八学大男女ラグビー部が指導

小中学生基礎技術磨く

八戸学院大(水野眞佐夫 学長) 男女ラグビー部は16日、同大人工芝グラウンドで青森県内の競技普及を目的に、小中学生を対象とした「放課後ラグビープログラム」を開催した。八戸市内から参加した小学4年から中学3年までの男女20人が競技の魅力に触れた。

日本ラグビーフットボール協会が主催。2012年から国内各地で開催されている。県協会、八学大の協力の下、県内で行われるのは今回が初めて。同部の山下祐史ヘッドコーチらが参加者の指導に当たっており、10月下旬まで継続的に開催する予定だ。

児童や生徒はパス練習やステップの踏み方など、基本的な技術の習得に努めた。市立城北小4年の伊藤琉平君(9)は「放課後にラグビーができるのはうれしい。練習に通ってもっと上手になりたい」と充実感をにじませた。

今後の開催日程は次の通り。7月30日、8月27日、9月3日、10月17日、24日、10月1日、15日、22日。

県内は小中学生を対象と

(上村公悟)